

おもてなし用語⑨

よんでみよう おぼえてみよう

このページは、直接入力できません。そのまま見るか印刷して使ってください!!

「はる」は、五・七・五のひびく、みじか詩のちいさなものです。松尾芭蕉(まつおばけい)や、小林一茶(こばいち)なやちいさな、ちいさなついでに、ちいさなついでに、ちいさな、一茶の句をちいさなついでに。ちいさなついでに、ちいさなついでに。

雪^{ゆき}とけて村^{むら}いっばいの子^こどもかな

小林^{こばい} 一茶^{いちぢ}

雀^{すずめ}の子^こと「のけそ」のけお馬^{うま}が通^{とほ}る

われと来て遊^{あそ}べや親^{おや}のない雀^{すずめ}

やせ蛙^{かえる}負^まけるな一茶^{いちぢ}これにあ^あり

やれ打^うつな蠅^{はえ}が手^てをすり足^{あし}をする

むまそつな(うまそつな)雪^{ゆき}がふ^ふは^はり^りは^はり^り(ふうわりふわり)かな

これがまあつひの(うこの)栖^{すみか}か雪^{ゆき}五^ご尺^{じやく}

めでたさも中^{ちゆう}へん^{へん}なり^{なり}おら^{おら}が春^{はる}